

児童の実態 ○明るく元気で真面目。 ○見通しのついた課題や指示された課題は粘り強く意欲的に取り組む。	学校教育目標 豊かな心を育み、気付き、考え、行動できる児童の育成	地域の実態 ○豊かな文化遺産や自然に恵まれている。 ○学校教育に対する理解があり、協力的である。 ○地域で子どもを支援しようとする雰囲気があり、そのための支援を惜しまない。
保護者の願い ○健康で安全な生活を送ってほしい。 ○良好な人間関係を構築してほしい。 ○たくさんの人に出会い、いろいろな経験をしてほしい。	総合的な学習の時間の目標 ○課題の解決に必要な知識・技術を身に付け、探求的な学習のよさを理解するようにする。 ○自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析してまとめたり、表現したりできるようにする。 ○探求的な学習に主体的・協力的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする。	地域の願い ○地域の担い手となってほしい。 ○地域行事等に積極的に参加してほしい。 ○豊かな人間性を身に付けてほしい。

総合的な学習の時間の内容						
学年		3年	4年	5年	6年	
テーマ		地域	環境・福祉	情報・地域	環境・国際交流	
探究課題		わたしたちのふるさと板東！ すてきなところ	ごみ減量プロジェクト だれもが暮らしやすい町 板東	「Bandoの心を伝えよう」	気候変動に挑む脱炭素を目指して ～コウノトリと共に生きる板東 未来へつ なぐ私たちの思い～	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識	ドイツ館、霊山寺、大麻比古神社、それに関わる人など、地域のよさやすばらしさを理解することができる。	環境を守ろうとする人々の思いや工夫を理解することができる。 高齢者や障がい者等の思いや願い、暮らしを支援する仕組みを理解することができる。	地域の伝統や文化から、地域と自分との関わりを理解することができる。	気候変動問題と板東に飛来してきているコウノトリの現状が関係付いていることを理解することができる。
		技能	地域に昔からあるものを大切に扱ったり、地域の人に挨拶をしたりするなど適切に接する。	4Rについて、学校や家庭で自分に行えることを行う。 高齢者や障がい者等に適切に関わる。	地域に昔からあるものを大切に扱ったり、地域の人に挨拶をしたりするなど適切に接する。	板東に飛来してきているコウノトリを大切に思ったり、コウノトリの生態などについて調べたりして、適切に接する。
		探究的な学習のよさの理解	地域を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であることに気付く。	高齢者や障がい者等への接し方など、自分の意識や行動の変容は、その暮らしや環境を守ろうとする人々の工夫について探究的に学んだことによる成果であることに気付く。 ごみを減量させる工夫等の意識や行動の変容は、環境を守ろうとする人々の工夫について探究的に学んだことによる成果であることに気付く。	地域を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であることに気付く。	コウノトリを大切にしたい、守りたいという自分たちの思いの変容は、気候変動に挑む脱炭素化について探究的に学んだことによる成果であることに気付く。
	思考力・判断力・表現力等	課題の設定	身近な環境に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながらフィールドワークの計画を立てることができる。		自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることができる。	
		情報の収集	地域のいろいろな人々に真摯な態度で接し、インタビューするなどして情報を集めることができる。	地域のいろいろな人々に真摯な態度で接し、インタビューをしたり、図書館、ICTを活用したりするなどして情報を集めることができる。	地域のいろいろな人々に真摯な態度で接し、インタビューをしたり、図書館、ICTを活用したりするなどして情報を集めることができる。	地域のいろいろな人々に真摯な態度で接し、インタビューをするとともに、体験活動を通して、必要な情報を図書館、ICTを活用するなどして情報を集めることができる。
		整理・分析	集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理することができる。	集めた情報を表やグラフ、思考ツールなどを用いて分類・整理し、特徴を見つけることができる。	集めた情報を表やグラフ、思考ツールなどを用いて分類・整理し、特徴を見つけることができる。	集めた情報を比較したり、表やグラフ、思考ツールなどを用いて分類・整理したりして、特徴を見つけることができる。
		まとめ・表現	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。
		自己理解 他者理解	課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることを知ろうとする。	探究活動の中で、自分や友達の見解や考えによさがあることを知り、学び合おうとする。	探究活動を通して、自分のよさや他者のよさに気付きながら、協働して学び合おうとする。	探究活動を通して、自分のよさや他者のよさを認めながら、協働して学び合おうとする。
学びに向かう力・人間性等	主体性 協働性	身近な人と力を合わせて課題を解決しようとする。	身近な人と協力して探究活動を行おうとする。	他者と協働して探究活動に取り組み、協働の大切さに気付いている。	他者と協働して進んで探究活動に取り組み、協働の大切さに気付いている。	
	将来展望 社会参画	自分と地域のつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。	自分と地域のつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。	自分と地域のつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。	自分と地域のつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。	
		学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価	
		・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究活動を設定する。 ・多様な人々と協働して解決する必要のある探究課題を設定する。	・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した横断的な指導を行う。 ・学習内容によってはSDGsを意識し、持続可能な社会について考えられる指導の工夫をする。	・地域のコミュニティを生かしたゲストティーチャーや地域資料の活用や外部講師等の活用を積極的に行う。	・キャリアパスポートを活用した評価の充実を図る。 ・発表会（異学年交流も含む）を利用した教師や友達による他者評価、制作物による評価を取り入れる。	